

リトルシニア投球数制限に関するFAQ

日本リトルシニア中学硬式野球協会 関東連盟 南関東支部

投球数制限について、問合せ等で不明点を記載しています。なお、ご不明な場合は南関東支部審判部へお問合せ下さい。

Q1: 1日最大90球以内、連続する2日間で130球以内とあるが、ダブルヘッダーの場合はどうなるのか。

A: ダブルヘッダーであっても、あくまで1日最大90球以内、連続する2日間で130球以内となります。

ただし、1日目、連続する2日目において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

**Q2: 連続する3日目の試合において、第1打者が打撃完了する前に、3日間累計で130球に到達した場合はどうなるのか。
(例. 1日目90球、2日目第1試合30球、2日目第2試合に残り10球の状態に登板)**

A: 3日間累計で130球に到達した場合も、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

Q3: 連続する3日目または4日目で投手として登板できない試合において、捕手等他のポジションでの出場制限はあるのか。

A: 投手以外であれば捕手を含め出場制限はありません。

Q4: 交代した投手が他のポジションについた後に、更に他のポジションにつくことはできるのか。

A: 可能です。公認野球規則5.10(d)【原注】の前段*は適用しない(リトルシニア関東連盟大会規則【野球特別規則】P28記載有)

* 公認野球規則5.10(d)【原注】の前段: 同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。

Q5: 特別継続試合となり2日連続で投球する場合はどうなるのか。

A: 特別継続試合であっても、連続する2日間130球以内での投球が可能です。試合単位ではなく、日数単位での制限となります。

Q6: 異なる大会の運用は具体的にはどういうことか。

A: 南関東支部においては、選手の体を守るために連続する日程においても全ての大会共通で本ガイドラインを適用とします。

Q7: 投球数確認シート<様式A>には、大会名欄があるが、上記Q6との整合はどのようにするのか。

**A: 南関東支部大会は、投球数確認シート<様式A>を「大会名は二線抹消」し、全ての支部大会共通*で使用して下さい。
関東大会は、別様式で投球数確認シート<様式A>に「大会名: 関東連盟●●大会」と記載し使用して下さい。**

* 支部大会共通: 同一日程でチームが分散し大会に参加する場合は、投球数確認シート<様式A>も参加チーム単位での使用とします。

Q8: ダブルヘッダー、特別継続試合の際の投球数確認シート<様式A>への記載はどのようになるのか。

A: ダブルヘッダー、特別継続試合とも2列に分けて、余白にダブルヘッダー、特別継続試合と本部にて記載します。

Q9: 投球数確認シート<様式A・B>の背番号に変更が生じた場合はどのようにするのか。

A: 背番号変更の都度、二線抹消し、新しい背番号を記載して下さい。

以上